

2. 2004年のPIデータ

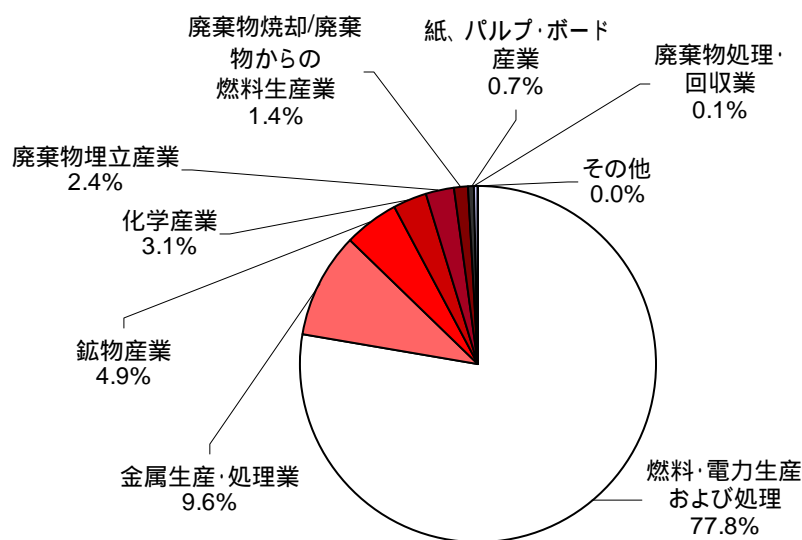
英国イングランド・ウェールズ地方の環境庁は、2004年6月に、1998年から2001年のPIデータ報告書（Pollution Inventory Data Report: Trends and Analysis 1998-2001）を公表している（概要は、「平成15年度PRTR制度国際動向調査」で報告）。しかし、2006年3月時点で、それ以降の報告書は公表されていない。排出量データそのものについては、Pollution Inventory Data Trends Spreadsheet¹¹にて1998年から2004年までのデータが公表されている。

そこで、以下には、このExcelデータを利用し、2004年の最新の排出量結果を記す。

（1）全体排出量および産業別排出量

英国イングランド・ウェールズ地方における2004年の大気・水・下水への総排出量は約241百万トンであった。

産業別の排出量は、大気への排出については、燃料・電力産業からの排出量が最も多く77.8%、次いで金属生産・処理業9.6%、鉱物産業4.9%などとなっている（図1）。水への排出については、化学産業からの排出量が最も多く58.5%、次いで下水処理業36.7%、燃料・電力生産および処理業3.2%などとなっている（図2）。下水への排出については、化学産業からの排出量が最も多く51.3%、次いで紙、パルプ・ボード産業29.7%、廃棄物焼却/廃棄物からの燃料生産業12.6%などとなっている（図3）。

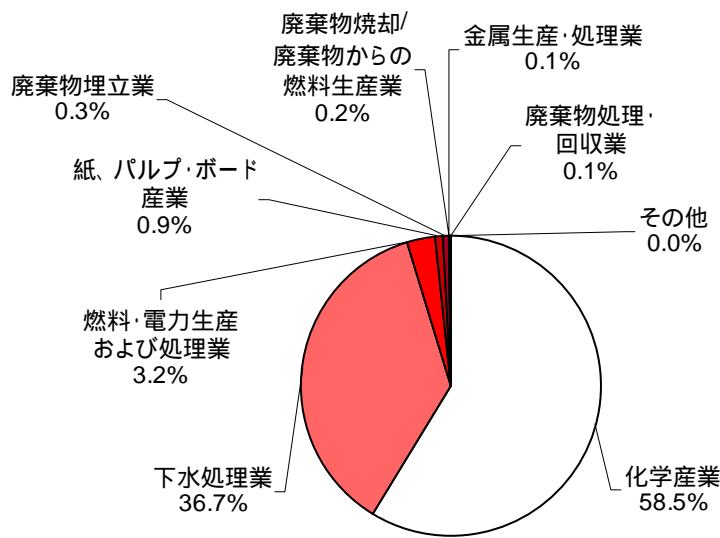


出典：イングランド・ウェールズ地方環境庁

図1：産業別排出量（大気）（2004年）

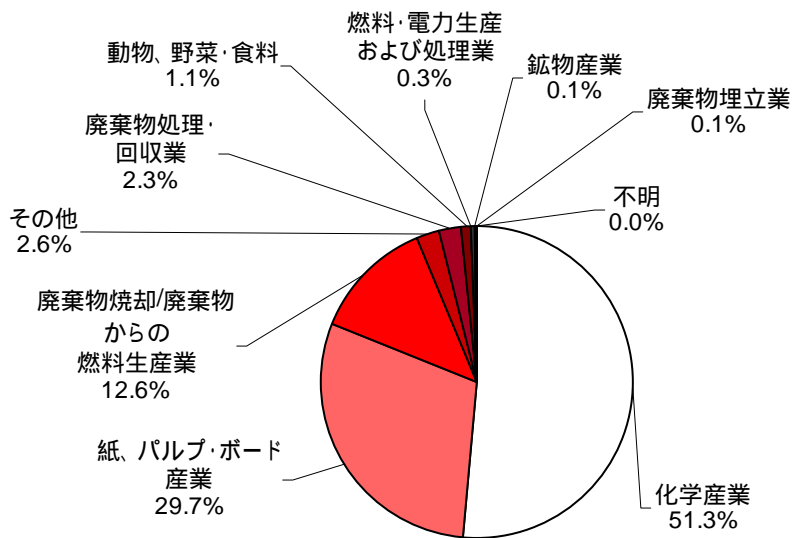
¹¹

http://www.environment-agency.gov.uk/business/444255/446867/255244/255281/862501/?version=1&lang=_e



データ出典：イングランド・ウェールズ地方環境庁

図 2：産業別排出量（水）(2004 年)



データ出典：イングランド・ウェールズ地方環境庁

図 3：産業別排出量（下水）(2004 年)

(2) 物質毎の排出量

環境媒体別の物質毎の排出量は、大気への排出(表1)については、排出量の大きい順に、二酸化炭素、硫酸化物、一酸化炭素、水への排出(表2)は、塩化物、全有機炭素、窒素、下水への排出(表3)は、全有機炭素、塩化物、窒素となっている。

表1：排出量の多い物質トップ10(大気)(2004年)

順位	物質名	排出量 (t/年)
1	二酸化炭素	236,750,955
2	硫酸化物	600,551
3	一酸化炭素	498,060
4	メタン	476,851
5	窒素酸化物	427,183
6	揮発性有機化合物	70,517
7	PM _{total}	25,252
8	塩素および無機塩素化合物(HCl)	20,945
9	塩化水素	20,208
10	亜酸化窒素	15,388

出典：イングランド・ウェールズ地方環境庁

表2：排出量の多い物質トップ10(水)(2004年)

順位	物質名	排出量 (t/年)
1	塩化物	1,815,636
2	全有機炭素	246,532
3	窒素	132,186
4	リン	18,718
5	フッ化物	2,917
6	ハロゲン化有機化合物(AOX)	460
7	亜鉛	291
8	フェノール	176
9	銅	77
10	ノニルフェノールエトキシレート	76

出典：イングランド・ウェールズ地方環境庁

表 3 : 排出量の多い物質トップ 10 (下水)(2004 年)

順位	物質名	排出量 (t/年)
1	全有機炭素	76,925
2	塩化物	41,715
3	窒素	5,178
4	フッ化物	193
5	リン	176
6	フェノール	53
7	ベンゼン	25
8	トルエン	23
9	ハロゲン化有機化合物 (AOX)	23
10	亜鉛	11

出典：イングランド・ウェールズ地方環境庁